

# オンラインで科学工作

岡山のNPO 自宅療養の子支援

## ホログラム玩具作り指導

病気の子どもの学習支援に取り組む認定NPO法人ポケットサポート（岡山市北区奥田本町）は10月30日、自宅療養中の児童生徒を対象にオンライン科学工作教室を開いた。

県内の小学生から高校生まで計10人の自宅とポケットサポートの事務所をビデオ会議システム「Zoom（ズーム）」で結んで実施。

物理を専門とする玉野高の藤田学教諭（56）が

講師を務め、キラキラな虹色の球体が出現。輝くおもちゃの作り方を藤田教諭が「模様によって光を反射する方向が違うので輝いて見える」と解説した。参加者に届けた。

児童らは画面で手本を確認しながらホログラム加工の細長い千代紙8本を球状に組み立て、中心に竹ひごを通して、竹ひごを挟んで手のひらをこすり合わせる。千代紙が回転してシャボン玉のよう

（常井智之）



おもちゃの作り方を教える藤田教諭（左）と三好

代表理事

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。